

保護者の皆様

令和4年度 学校評価アンケート結果について

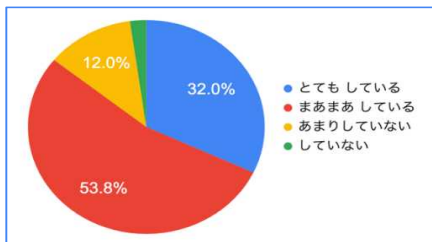
仙台市立大沢小学校  
校長 高橋 昌子

早春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動に対し、ご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

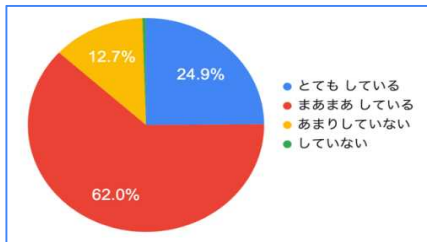
さて、昨年12月に実施しました令和4年度の学校評価アンケートにたくさんの保護者の皆様にご協力をいただき、ありがとうございました。深く感謝申し上げます。皆様から寄せられたご意見とともに、児童・教職員のアンケート評価も加えてまとめましたので、お知らせいたします。

なお、評価から見えてきた課題については改善策を立て、来年度の学校運営に生かしていきます。今後ともご理解・ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

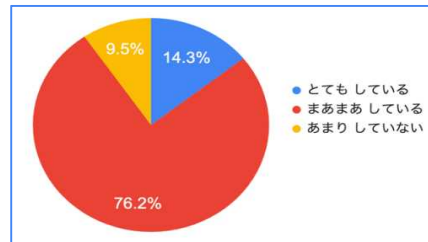
①普段、自分から挨拶をしていますか。



児童	回答数	割合
とてもしている	72	32.0%
まあまあしている	121	53.8%
あまりしていない	27	12.0%
していない	5	2.2%



保護者	回答数	割合
とてもしている	51	24.9%
まあまあしている	127	62.0%
あまりしていない	26	12.7%
していない	1	0.5%

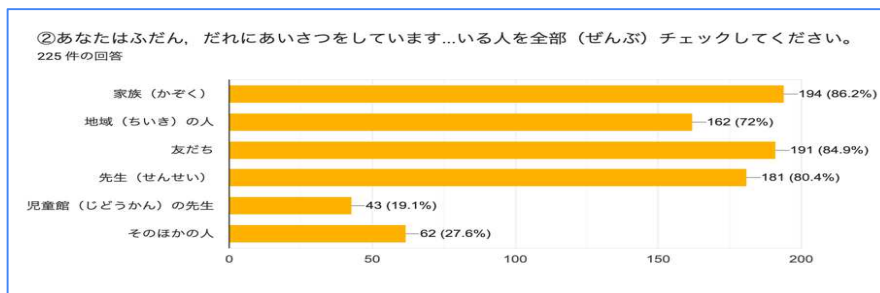


教職員	回答数	割合
とてもしている	3	14.3%
まあまあしている	16	76.2%
あまりしていない	2	9.5%
していない	0	0.0%

挨拶は他者との良好な関係を築く上で重要で、コミュニケーションの基本となるものです。子供たちは「進んで挨拶！」することを目標に、小中連携の挨拶運動や、児童会発案のいじめ防止絆アクション「挨拶の木プロジェクト」等を通して、挨拶運動に取り組んできました。

アンケートでの「自分から挨拶をしているか」の問いに対し、「とてもしている、まあまあしている」と回答した割合が児童・保護者・教職員とも85%を超える結果となりました。これは、子供たちの挨拶運動の取組により、挨拶に対する意識が向上したことが考えられます。特に今年度は、児童会が中心となって呼び掛けた「挨拶の木プロジェクト」が子供たちの意識を大きく変え、進んで挨拶しようとする雰囲気広がるなど、大きな成果を上げました。「挨拶の木プロジェクト」終了後も、挨拶を継続しようとする様子が見られます。今後も、挨拶の大切さや取組の継続を働き掛けていきます。

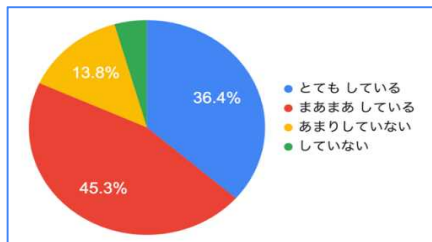
②あなたは普段、誰に挨拶をしていますか。（複数回答可）



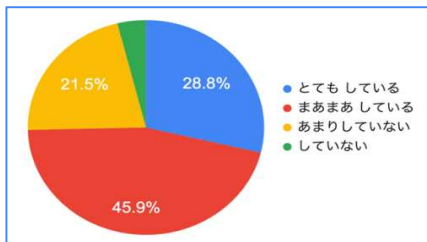
児童	回答数	割合
家族	194	86.2%
地域の人	162	72.0%
友達	191	84.9%
先生	181	80.4%
児童館の先生	43	19.1%
その他	62	27.6%

子供たちが誰に対して挨拶をしているかの設問です。結果を見ると、家族や友達、先生が80%を超えるなど、身近な人の割合が高いことがわかります。今後は、更に挨拶の範囲を拡大し、誰に対しても進んで挨拶しようとする児童の育成に務めてまいります。

③自分から宿題や家庭学習をしていますか。



児童	回答数	割合
とてもしている	102	45.3%
まあまあしている	82	36.4%
あまりしていない	31	13.8%
していない	10	4.4%



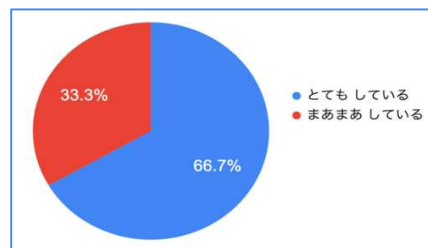
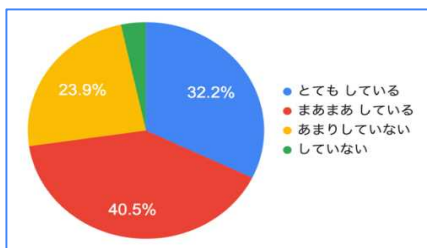
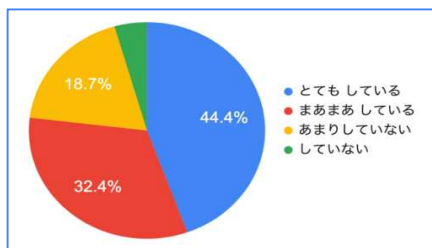
保護者	回答数	割合
とてもしている	59	28.8%
まあまあしている	94	45.9%
あまりしていない	44	21.5%
していない	8	3.9%



教職員	回答数	割合
とてもしている	1	7.7%
まあまあしている	11	84.6%
あまりしていない	1	7.7%
していない	0	0.0%

子供たちの家庭における宿題や家庭学習への取組については、子供たちは「とてもしている、まあまあしている」の割合は80%を超えるものの、保護者の結果は約75%と差異が見られます。また、教職員は90%を超えるなど、概ね宿題や家庭学習に取り組んでいると捉えていることが分かります。

④自分から運動しようとしていますか。



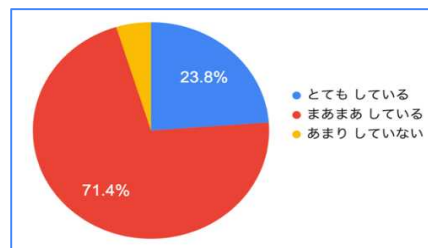
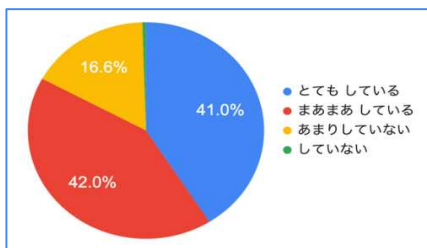
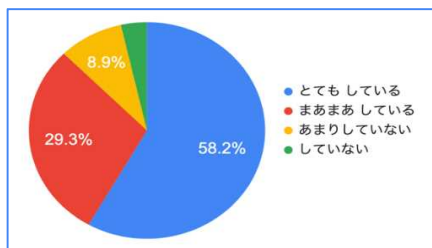
児童	回答数	割合
とてもしている	100	44.4%
まあまあしている	73	32.4%
あまりしていない	42	18.7%
していない	10	4.4%

保護者	回答数	割合
とてもしている	66	32.2%
まあまあしている	83	40.5%
あまりしていない	49	23.9%
していない	7	3.4%

教職員	回答数	割合
とてもしている	14	66.7%
まあまあしている	7	33.3%
あまりしていない	0	0.0%
していない	0	0.0%

自ら運動しようとする意識については、子供たちも保護者も70%台とやや低い割合になりました。しかし、教職員の意識としては100%であり、子供たちと保護者、教職員間の意識の違いが大きいことが分かります。授業において体育の学習の導入時にサーキットを取り入れたことが教職員の意識の高さにつながったものと考えられます。

⑤好き嫌いをせずに朝ごはんをしっかりと食べようとしていますか。  
(お父さんは、食事に関心を持ったり、しっかりと食事を取ろうとしたりしていますか。)



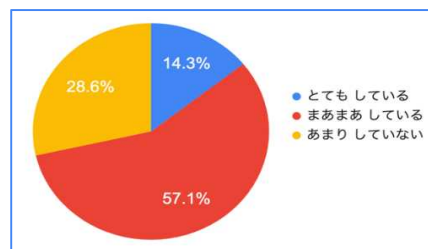
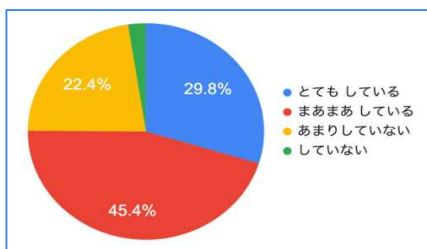
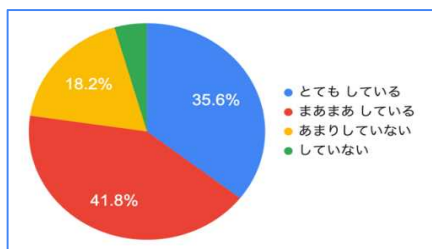
児童	回答数	割合
とてもしている	131	58.2%
まあまあしている	66	29.3%
あまりしていない	20	8.9%
していない	8	3.6%

保護者	回答数	割合
とてもしている	84	41.0%
まあまあしている	86	42.0%
あまりしていない	34	16.6%
していない	1	0.5%

教職員	回答数	割合
とてもしている	5	23.8%
まあまあしている	15	71.4%
あまりしていない	1	4.8%
していない	0	0.0%

朝食に対する意識は、子供たち、保護者、教職員とも80%を超える結果となり、いずれも朝食を取ることの大切さを理解し、食べようとする意識が高いことが分かります。

⑥生活リズムを意識し、早寝早起きしたり、睡眠をしっかり取ろうとしたりしていますか。



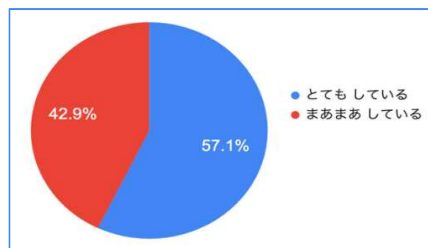
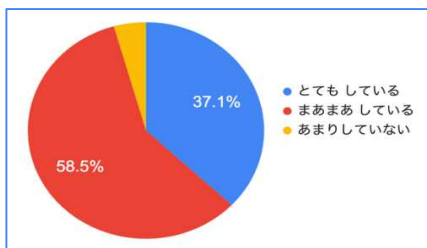
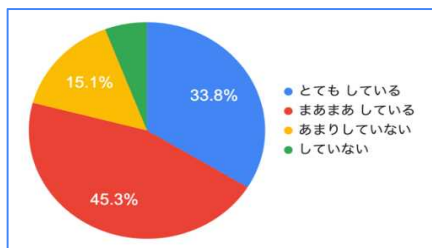
児童	回答数	割合
とてもしている	80	35.6%
まあまあしている	94	41.8%
あまりしていない	41	18.2%
していない	10	4.4%

保護者	回答数	割合
とてもしている	61	29.8%
まあまあしている	93	45.4%
あまりしていない	46	22.4%
していない	5	2.4%

教職員	回答数	割合
とてもしている	3	14.3%
まあまあしている	12	57.1%
あまりしていない	6	28.6%
していない	0	0.0%

早寝早起きや睡眠などの生活リズムへの意識に対しては、子供たち、保護者、教職員とも70%台とやや低い割合となりました。健康な生活には生活リズムを整えることが重要であることを子供たちに改めて意識させ、夜更しせずに早めに就寝することを啓発していくことが必要だと考えます。

⑦勉強や運動などの目標を立て、学校や家で進んでチャレンジしようとしていますか。  
 (お子さんの健康的な生活のため、ご家庭(学級)で声掛けや働き掛けをされていますか。)



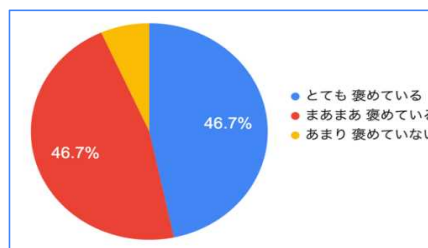
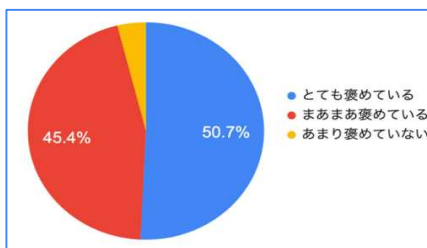
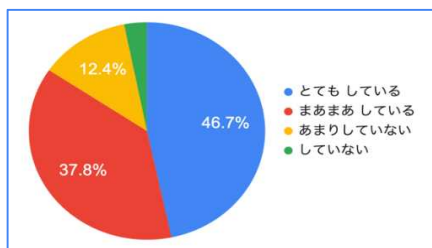
児童	回答数	割合
とてもしている	76	33.8%
まあまあしている	102	45.3%
あまりしていない	34	15.1%
していない	13	5.8%

保護者	回答数	割合
とてもしている	76	37.1%
まあまあしている	120	58.5%
あまりしていない	9	4.4%
していない	0	0.0%

教職員	回答数	割合
とてもしている	8	57.1%
まあまあしている	6	42.9%
あまりしていない	0	0.0%
していない	0	0.0%

子供たちは80%弱、保護者は約95%、教職員は100%と、それぞれの意識に大きな違いが見られる結果となりました。保護者、教職員は積極的に働き掛けているものの、子供たちのチャレンジしようとする意識は約80%に留まりました。より多くの子供たちが進んでチャレンジする意識を持てるよう、今後も引き続き声掛けを続けてまいります。

⑧「みんなのためにプラス1！」で、友達や家族のために働いたりお手伝いしたりしていますか。  
 (お手伝い等、お子さんの家庭(学級)での役割を褒めていますか。)



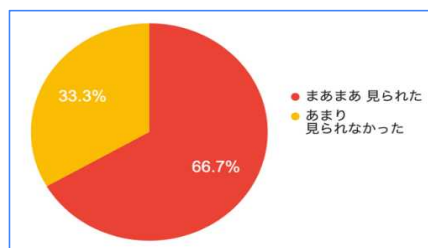
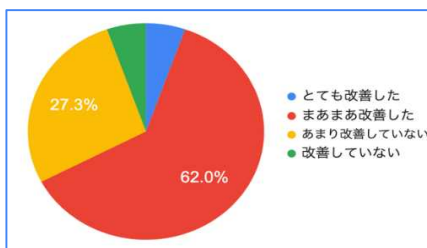
児童	回答数	割合
とてもしている	105	46.7%
まあまあしている	85	37.8%
あまりしていない	28	12.4%
していない	7	3.1%

保護者	回答数	割合
とても褒めている	104	50.7%
まあまあ褒めている	93	45.4%
あまり褒めていない	8	3.9%
褒めていない	0	0.0%

教職員	回答数	割合
とても褒めている	7	46.7%
まあまあ褒めている	7	46.7%
あまり褒めていない	1	6.7%
褒めていない	0	0.0%

子供たちは84.5%、保護者は約96%、教職員は約93%と、それぞれが80%を大きく超える結果となりました。「みんなのためにプラス1！」の合言葉が子供たちに浸透し、行動に表れたのだと考えられます。また、ほとんどの保護者、教職員は子供たちの頑張りを認めていることが分かります。今後も継続して励ましていきたいものです。

⑨夏休み明けの「沢っ子健康週間」で、子供たちに家庭での生活についてご家族と振り返る取組を行いました。  
 ご家庭でお子さんとの健康的な生活リズムについて見直し、生活習慣が改善されましたか。  
 (学級で健康的な生活リズムについて見直し、生活習慣を改善しようとする様子は見られましたか。)



保護者	回答数	割合
とても改善した	11	5.4%
まあまあ改善した	127	62.0%
あまり改善していない	56	27.3%
改善していない	11	5.4%

教職員	回答数	割合
とても見られた	0	0.0%
まあまあ見られた	10	66.7%
あまり見られなかった	5	33.3%
見られなかった	0	0.0%

夏休み明けの生活リズムの振り返りを基に、生活習慣の改善を図りましたが、保護者、教職員とも70%を切る結果となり、子供たちの生活習慣の改善にはまだ結び付いていないことが分かります。「沢っ子健康週間」の振り返りなど、今後も継続した取組を行い、生活習慣の改善に対する子供たちの意識の向上が必要であると考えます。

【3月20日(月) 学校運営協議会 委員の皆様から】

- 4月の仙台市生活・学習状況調査における「朝ごはんを食べない児童が4割」の結果について
  - ・朝食は食べないと体のリズムが整わず、頭が働かない。気持ちがイライラしてしまうことも。家庭の事情や環境もあると思うが、睡眠や起床時刻と合わせ、朝食を食べることの大切さを子供たちだけではなく保護者にも働き掛けていくべき。

○生活習慣について

- ・子供たちが元気に学校生活を送ったり、楽しく活動したりするのは健康が基盤になる。そのためには、食事や睡眠、運動といった生活習慣が大切で、健康づくりは保護者の協力が不可欠である。

【アンケートの分析と取組の振り返り】

今年度の協働型学校評価の重点目標は、「心と体の健康を意識し、自分のめあてに向かってがんばる子」でした。具体的な目標として、

- ①学校や家庭での運動・保健・食に関する生活目標を立て、進んでチャレンジしようとする態度を育成する
- ②「みんなのためにプラス1」を合い言葉に、進んで誰かのために役に立とうと目当てに向かって行動する態度を育てる

を設定し、日々の教育活動に臨んで参りました。

今年度の取組について、具体的な目標として、児童や保護者、教職員を対象としたアンケートにおいて、80%以上が「①目標に進んでチャレンジしようとした」、「②進んで誰かのために役に立とうと行動しようとした」と回答することを目指して取り組んできました。

保護者、教職員の結果としては、①②とも90%を超える達成状況であり、お子さんに対してご家庭で積極的に啓発していただいた結果であると考えます。一方、児童の結果アンケートの結果では①が79.1%、②が84.5%、達成したとの回答でした。①については80%に満たない回答となり、約20%の児童が進んでチャレンジしようとしできなかったと回答しました。このことから、児童が目標に向かって取り組む主体性を伸ばす必要があると考えました。

今年度の結果を基に、令和5年度も「進んでチャレンジ」「みんなのためにプラス1！」の目標を継続し、子供たちが目標に向かって意識しながら教育活動に取り組んでいけるよう、意識して指導や声掛けを行ってまいります。ご家庭に置かれましても、協働型学校評価の内容についてご理解いただき、お子さんへの励ましや声掛けの継続をどうぞよろしくお願いいたします。